

本島通信

本島大教会 月次祭神殿講話 (要旨)

【立教183年3月22日】

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
 電話 0877-27-3321 (代)

本島通信編集室 R.200324-0326-13
 奈良県天理市指柳町270-1
 本島話所 〒632-0093
 電話 0743-63-1571 (呼)

Email: news@honjima.com
 発行部数: 891部 (先月比±0)

大教会 朝夕おつとめ時間
[4月1日~4月15日]
 朝づとめ 午前6時30分
 夕づとめ 午後6時45分
[4月16日~4月30日]
 朝づとめ 午前6時30分
 夕づとめ 午後7時00分

おぢばに沿い、 神一条の精神を求めよう

本島大教会長 片山幹太 かたやまかんた



当大教会の3月月次祭にお帰り下さ
いまして誠にありがとうございます。
本日、少年会本部より先生をお招き
して縦の伝道講習会を実施させて頂く

予定でしたが、新型コロナウイルス感
染拡大予防のため、延期させて頂きま
した。

そこで代わりに私が思うことをお話
させていただきます、お聞き頂きたいと
存じます。よろしくお願いいたします。

私は2月28日から3月12日まで、ア
メリカへ巡教に行かせて頂きました。
現在は感染症の危険レベルが引き上げ
られ、外務省より不要不急の渡航は止
めるよう勧告されていますが、幸い勧
告以前に行つて帰つてまいりました。
ハワイのマウイ教会へ巡教した折り、

部内の布教所も参拝させて頂きました。
山を少し上がったところにあり、布教
所周辺で農園を営んでおられますので、
そこも見学させて頂きました。

屋外で久尾マーク会長が、胸の前
に掌を上にして、じっと待つておら
れました。近づいてみると、なんと
掌の上にカメレオンが乗っていたの
です。日本ではほとんど見たことが
ありません。

マーク会長が、「持つてみますか」と
尋ねられたので、正直申し上げて怖
かったのですが、へっちゃらな顔をし
て、同じように持たせて頂きました。

するとそれまで緑色だったカメレオ
ンが、どんどん黒っぽい色に変わつて
いくのです。少し怖くなりますがマー
ク会長にお返ししました。するとまた
少しずつ緑色に戻つて行きました。

後で聞いた話では、カメレオンは
ストレスを感じると黒っぽく変色す
るのだそうです。カメレオンにとつ
て、私の掌は相当なストレスだった
ということなんです。ちょっとショック
を覚えました。

マーク会長は、慣れておられるので、
微動だにしません。

私は平常心を保つておられるつもりでし
たが、嘸まれないか、暴れないか、心

配ばかりしていたように思います。そ
の不安がカメレオンにも伝わったので
しょう。落とされるかもしれないと考
えたら、カメレオンもストレスを感じ
たことでしょう。

私たちも心配や不安のストレスを溜
めないようにすることが大切だと思
いました。そのためには、ぶれない信仰
心を持つことだと思えます。ちば一条
神一条の精神を持つて、心配や不安を
溜めないように、ぶれない心にならせ
て頂きたいと思えます。

さて、感染症拡大予防のため、4月
の婦人会記念総会が中止になるとい
う大節がございました。

そこで私はこれまでの婦人会総会に
おける真柱様のお言葉を振り返らせて
頂きました。

今から5年前の立教178年、第97回総
会でのお言葉の一節が私の心に刺さり
ましたので、読ませて頂きます。

「(教祖)五年祭から次の十年祭の間
には、先人方が過去に伏せ込まれた
理が芽生え、全国各地で教会が設立
されていきました。反面、おさしづ
に沿うより惰性が先に立ち、勝手に
流れるようなところも見受けられ、

その現状を、親神様は初代真柱様の身上を台にして戒められ、神一条の理を立てて通ることの大切さをお仕込みになりました。」

教祖5年祭は、教会本部が公認されて勤めた最初の年祭で、その勤め方について一つひとつおさしづを伺われ、準備が進められました。三年千日の通り方の意味も、五年祭を前にして教えて頂いたことです。これらのおさしづがあるおかげで、私たちは教祖の年祭に対する神一条の考え方や、物事の処理の仕方を分かって頂くことができます。

ところがその反面、ここが気をつけなければならぬ所だと思っております。「おさしづに沿うより惰性が先に立ち、勝手に流れるようなところも見受けられ」とあるように、次第に世間の風潮や流行に影響され、神一条を通じているつもりでも、自分勝手な道に流れて行く、そういうことが見受けられたとき、初代真柱様の身上を台に戒められたこととです。

現在は教祖130年祭から140年祭の間です。先人先輩方の伏せ込みのお蔭で、今我々はこうして安心して参拝させて頂いているし、お道を通らせて頂いて居ります。

その中で現在、真柱様の御身上を通して私たちに親神様がお仕込み下さっているのは何でしょうか。

惰性や勝手ではなく、おちばに沿い、神一条の精神を求めて日々通らせて頂きたいと思う次第です。

二代真柱様は天理柔道に力を入れて下さいました。柔道と信仰について考えてみたいのです。

神一条を通るといことは、しっかりとたれて通ることだと思います。反対に勝手というのは、自分の思いを押し通すということだと思います。

柔道では、「柔よく剛を制す」という言葉があります。力任せに技をかけていくのではなく、相手の力も利用しながら、もたれながら、流れに沿って技をかけていきます。

神一条とは、自分の思いを力任せに強引に押し通そうということではなく、成って来る理に乗って、喜びを見つけないながら成人の歩みを進めること、前進していくことが大事だと思うのです。

神一条の思案の上で大切なことは、親神様は私たちに陽気ぐらしをさせてやりたい、たすけ一条のお心であるという事です。

そこで、現れてくること、私、そして親神様の三角関係を意識して通らせ

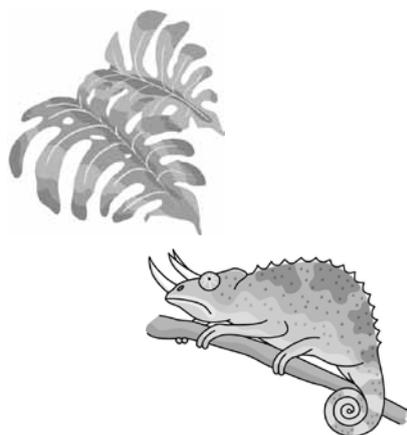
て頂くことが大切だと思います。

現在の世界の大師も、我がことと捉えて、親神様が教えてやろうと下さる親心が必ずあることを心に置いて、陽気ぐらしへの一歩を進めて行きたいと思う次第であります。

またこのような機会だからこそ、稿本天理教祖伝を読み深め、ひながたの道を再確認することも大事なことでないでしょうか。

ただ読むだけでなく、教祖伝本文の上余白には、小さな見出しがありますので、そのポイントを意識して読んでみてはいかがでしょうか。

おちばはたすけて頂けるところです。おちばに心をつなぐことを忘れずに、通らせて頂きましょう。



教祖ひながたを 手本に育成を

3月大教会教会長会議

立教183年3月22日

大教会長 片山幹太

3月7日、8日に、大教会参道の植栽のきしんが行われ、これまでの植からアベリアに植え替えました。

この2日間に79名がご参加下さり、また準備のために早くから泊まり込んで下さった方も居り、大変勇んだひのきしんになったと聞かせて頂いております。

またアベリア植栽に当たって、金銭のお供えをお運び下さった方々にも、重ねてお礼申し上げます。

参道が柘植からアベリアに変わったように、私たちの心も見直して入れ替えることが大事になっていると思います。

おふでさきに、

せかいにハこれらとゆうているけれど 月日さんねんしらす事なり

せかいぢうどこの人でもをなち事

いつむばかりの心なれとも

これからハ心しいかりいれかへて
よぶきづくめの心なるよふ

(おふでさき第十四号22~24)

教祖の時代はコレラ、現在はコロナウイルスによって、世界規模の大きな不安が引き起こされています。

心配や不安で心がはずんでいる人々が、親神様の思召を悟って晴れやかに頂けて頂けるように、私たちは、よくよくの使命は何なのか、すべては教祖ひながたの道に手がかりがありますので、心をしつかり入れ替えて、陽気づくめの心になるようかからせて頂きたいと思ひます。

教祖130年祭における真柱様のお言葉に、「育て方の手本はひながたにある」とあります。そして真柱様は「時代を長い目で道の将来を担う人材を育てる、また増やす活動に心を据えて取り組まなければならぬ」と思ふ」とも仰せられました。

現在の私たちの大きな目標は「人材を育てること」。それもただ増やすだけでなく、おちばに根付いた人材を増やしていくことだと思ひます。道の先人たる私たちがまず心を入れ替えて、陽気ぐらしを实践させて頂きたいと思ひます。

(文責・本島通信編集室)

三月月次祭 祭典役割

献饗長 寺本教生
伝 供 老木邦光・篠原丕王・永山晴明・岡崎八十則・向所隆文・永島宗行・大上道徳・伊東康成・雲庵春彦・吉田知彦・高島栄造・宮路和徳・茶屋原良昭・肥後章・位下道治・渡部友見・鎌田典夫・山下英久・西森正昭・伊東賢太郎・鎌田康典(順不同)

須崎晴道・木村大喜・滑川善久・村田輝夫・星久・川村吉夫・時久英次・溝口晋太郎・倉嶋孝明
雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・大矢万三・窪田卓夫・片山直明・長尾海和・岩橋守行・香川寛範・伊東賢太郎・鎌田康典(順不同)

祭主 指圖方	座りつとめ			つをどり前半			つをどり後半		
	大教会長 井上 哲	扨者 片山 勲 平井真治郎	片山 勲 平井真治郎	賛者 吉田晴雄 奥村龍夫	岩橋竜造 高島栄造 宮路和徳	伊東康成 肥後 章 大矢万三	西山道徳 篠原丕王 岡崎八十則 片山孝代 老木加代子 井上みつの	大上道徳 雲庵春彦 木村大喜 高垣洋子 宮武有為子 菅岡和美	吉田晴雄 滑川善久 大西 剛 渡部友見 溝口晋太郎 岩橋守行 原口和子 川村かず子 佐藤道子
地方	岩橋慶三 片山 肇 老木邦光	岩橋竜造 高島栄造 宮路和徳	伊東康成 肥後 章 大矢万三	西山道徳 篠原丕王 岡崎八十則 片山孝代 老木加代子 井上みつの	大上道徳 雲庵春彦 木村大喜 高垣洋子 宮武有為子 菅岡和美	吉田晴雄 滑川善久 大西 剛 渡部友見 溝口晋太郎 岩橋守行 原口和子 川村かず子 佐藤道子	長尾海和 永山晴明 窪田靖明 向所隆文 永島宗行 高垣光治 雲庵まち子 花田菊子 吉田要子	高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	吉田晴雄 高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子
てをどり	大教会長 片山 勲 牧野道昭 會長夫人 片山やすゑ 長尾澄子	西山道徳 篠原丕王 岡崎八十則 片山孝代 老木加代子 井上みつの	伊東康成 肥後 章 大矢万三	大上道徳 雲庵春彦 木村大喜 高垣洋子 宮武有為子 菅岡和美	吉田晴雄 滑川善久 大西 剛 渡部友見 溝口晋太郎 岩橋守行 原口和子 川村かず子 佐藤道子	長尾海和 永山晴明 窪田靖明 向所隆文 永島宗行 高垣光治 雲庵まち子 花田菊子 吉田要子	高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	吉田晴雄 高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	
ちやんぼん 拍子木 太鼓 すりがね 小鼓 三味線 胡弓	吉田晴雄 高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	長尾海和 永山晴明 窪田靖明 向所隆文 永島宗行 高垣光治 雲庵まち子 花田菊子 吉田要子	伊東康成 肥後 章 大矢万三	大上道徳 雲庵春彦 木村大喜 高垣洋子 宮武有為子 菅岡和美	吉田晴雄 滑川善久 大西 剛 渡部友見 溝口晋太郎 岩橋守行 原口和子 川村かず子 佐藤道子	長尾海和 永山晴明 窪田靖明 向所隆文 永島宗行 高垣光治 雲庵まち子 花田菊子 吉田要子	高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	吉田晴雄 高島清弘 岡崎俊郎 寺本教生 平井真治郎 雲庵道延 池田さわみ 片山 榮 向所暉美子	
神殿講話	大教会長(縦の伝道講習会延期のため)								

三月月次祭祭文

立教百八十三年三月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。

親神様の一れつ子供をお思ひ下さいます深い親心のまにまに、妙なる自由の御守護を戴き、日々、陽気ぐらしへの道をひたすら歩ませて頂いております御慈愛の程は、只々有難く勿体ない限りでございます。

私共は、届かぬながらも思召に添わせて頂けるよう、たすけ一条の御用の上に懸命に努め励ませて頂いておりますが、その中にも今日の吉き日は、当大教会にお許し頂いた月次の御祭日でございますので、只今からおつとめ奉仕者一同、心を一つに合わせ澄みきった心で、座りつとめをどりを勇んでつとめ、三月の月次祭を執り行わせて頂きます。

御前には、参り集いました教え子達が、相共におつたを唱和して日頃賜る御厚恩に改めて御礼申し上げ、なおも変わらぬ御守護にお縋りする真実の状をお受け取り下さいますようお願い申し上げます。

更には、今、世界中に広がる新型コロナウイルスの感染拡大が進行している状況の中で、罹患された方々の身上平癒と共に、様々な困難に直面している社会的な混乱の一日も早い治まりには、この度のふしを通して、親神様の深い思召しを一人ひとり、がわが事と受け止めて御教えの基本に立ちかえり、一手一つに神一条の精神をもって、世界たすけに努めさせて頂く所存でございます。

親神様には、この心定めをお受け取り下さいます、たすけ一条の道が一層伸展し、多くの人々が真実の親を慕い、そのお心に抱かれて、感謝と喜びの心に満ちあふれて暮らすことのできる世の状に一日も早くお連れ通り頂きますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

(原文のまま)

春季霊祭役割

祭主 大教会長

指図方 井上 哲

扨者 片山 勲

賛者 平井真治郎

吉田晴雄

奥村龍夫

献饌長 寺本教生

伝 供 老木邦光・

岩橋竜造・篠原丕王・

永山清明・岡崎八十

則・向所隆文・永島

宗行・大上道徳・原

口実・伊藤康成・雲

庵春彦・上山康雄・

西森正昭・星久・川

村吉夫・村田輝夫・

須崎晴道・橋口徹

雅楽奉仕者 文岡育則・高垣光治・
大矢万三・片山直明・長尾海和・岩
橋守行・伊東賢太郎・鎌田康典(願不同)

てをどり	てをどり前半	てをどり後半
池田さわみ	奥村龍夫	高垣光治
片山やすゑ	伊藤康成	永山清明
片山やすす	寺本教生	窪田靖明
会長夫人	老木邦光	原口 実
伊東晴美	岩橋慶三	須崎晴道
岡崎むつゑ	岩橋竜造	橋口 徹
原口和子	長尾澄子	篠原久子
	向所暉美子	雲庵まち子
	片山孝代	川村かず子

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大を予防する上から、本島通信にてご案内しておりました左記の行事は中止となりました。

- ◆学生生徒修養会大学の部(3月3日～9日)
- ◆学生生徒修養会高校卒業生コース(3月10日～12日)
- ◆縦の伝道講習会(3月22日)
- ◆春の学生おちばがえり(3月27・28日)
- ◆本島団鼓笛隊春季合宿(3月27日～4月3日)(4月18・19日)
- ◆天理教婦人会創立110周年記念総会ならびに関連行事→

大教会長動向

▼4月(予定)▲

- 3日、香川教区役職者会議
 - 7日、教人資格講習会講義
 - 11日、本廣分教会
 - 会長就任奉告祭執行
 - 14日、大教会月次祭執行
 - 18日、教祖御誕生祭参拝
 - 24日、修養科総立まなび
 - 25日、かなめ委員会
 - 26日、本部月次祭参拝
 - 27日、かなめ会
 - 29日、全教一斉ひのきしんデー
 - 30日、本部神殿奉仕当番
- 以上

入社祭

(立教183年3月22日)

- ▼安藝本中△荒瀬賢治
 - ▼井上彰広
 - ▼吉松峰△古山喜也
 - ▼栄森峰
- 【計3名】

参道植栽ひのきしん

大教会の参道植栽ひのきしんが、3月5日から8日にかけて行われ、のべ179名(実数79名)が参加し、アベリアの苗木500本以上を植樹しました。本島大教会の黒門から上がる参道には、これまで両脇に植栽が植えられていましたが、ほとんどが枯れて寂しい状態になっていました。

2年後に迎える創立120周年記念祭には、帰参者に気持ちよく参道を上がって頂きたいとの思いから、談じ合の上、アベリアを植樹することを決め、準備を進めてきました。作業は地中に埋まっている抜根作業から行いました。

期間中は、曇時々晴一時雨と目まぐるしく天気が変わりましたが、予定通り植樹を完了した上に、墓地の一部にも植樹を行いました。



参道植栽ひのきしん参加人員

	大人	少年会員	計
3月5日	22(15)		22
3月6日	28(15)	4	32
3月7日	53(14)	12	65
3月8日	52(14)	8	60
計	155(58)	24	179

(カッコ)は在籍者数

アベリアとは、スイカズラ科ツクバネウツギ属に属する植物の総称。低木で、春～秋のかなり長期に渡って、鐘形の小さい花を多数咲かせる。花の香りは非常に強い。公園などの生け垣によく使われる。日本列島の関東以西では真夏の酷暑の時期に花をつける在来植物が少ないため、この時期にはアベリアの花に多様なハチやチョウが吸蜜に集まる。

《参考文献・佐竹義輔他編『日本の野生植物 木本Ⅱ』平凡社》

事情はいづ

(立教183年3月26日)

本篠分教会

任命願

新任教会長 寺本邦一

臨時祭典願

就任奉告祭 立教183年5月18日

以上

おどげの理拝載者

(立教183年2月分)

豪峰 今井洋成

雄福峰 入江美紗

大松峰 佐藤紀子

仙峰 中土井隆志

【計4名】

教人資格講習会修了

(立教183年3月12日付)

本田中 佐々木徳太郎

【計1名】

教人登録

(立教183年3月5日付)

那波 村岡 要

【計1名】

統計 (2月1日~29日)

教会名	初席	中席	雲ひら	修養科	教人講習	検定講習	にをいがけ名簿提出教会 (3月)					
							本島	0	本千代	2	倉峰	7
本田中	1				1		本室	4	本攝	3	大雄峰	44
本那波	1						御幸濱	4	本山海	2	雄福峰	20
本陽山		1					本桶川	3	本備前	4	雄山峰	5
本赤峰			1	1			代々木	9	本府中	2	栄森峰	35
本雄福			1				本萬代	3	本宣道	1	栄星峰	2
本靈峰	2	2					本都	64	本陽山	2	栄東峰	18
本實峰		1					本京	6	本新田	2	霊峰	7
本大松			1				本草	20	赤峰	6	吉松峰	42
本別吉	1	1					本日米	2	豪峰	41	仙峰	27
本肥後		1					計 30 教会 395 名					
本銀仙		2	1				みちのとの統計では初席10名ですが、本島通信では初席7名となっています。これは2月の親里管内高校生の初席者が含まれていないためです。新年度になり、親里管内高校生全員の初席を確認して、本島通信に掲載させていただきますので、ご了承ください。					
本本伯					1							
合計	7	7	4	1	2	1						

をびや許し

(立教183年2月分)

▼本京△牧野久美

△小教賀理乃

▼新信峰

【計2名】

おどげお取り次ぎ報告

(立教183年3月22日)

提出教会

21教会

報告数

1,282回

累計

3,931回

※前年同月累計比 82.3回減



3月の本部月次祭は、コロナウイルス感染予防のため、一般参拝者に自粛要請を行っての祭典となりましたが、東棟前の枝垂れ桜は例年より早く、見事な花を咲かせていました。



教祖誕生祭

【教会本部】

- 日時：4月18日(土)午前10時執行
- 祭典終了後「**慶びの大合唱**」が本部中庭で行われる予定です。(3月25日編集時の情報です)

〈別席受付時間〉

- 4月18日 午前席=無し
- 午後席=午後2時30分~3時30分
- お誓い=午後2時30分~4時
- 17日、19日 午前席=午前8時~9時30分
- 午後席=正午から午後1時30分
- お誓い=午前8時~午後4時

教祖お誕生まつり

【本島大教会】

- 4月14日、大教会祭典終了後、全員で「教祖御誕生讃歌」「おやさまおうまれ」「教祖御誕生祝歌」を斉唱し、お祝いさせていただきます。

全教一斉ひのきしんデー

【教会本部】

- 日時：4月29日(祝)
- 会場情報：
<https://tenrikyo-regional.net>
- 参加カード：各教会に配布しています。当日の混雑を避けるため、各自記入の上、ご参加下さい

教会おとまり会実施報告

【少年会本島団】

- 令和元年度の1年間(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)、**教会おとまり会を行った回数と教会子ども会(日帰り)を行った回数**について、少年会本島団(岩橋竜造)までご報告をお願いします。
- 締切：4月14日

婦人会記念総会中止について

【婦人会本島支部】

新型コロナウイルスの感染拡大防止に備えての一連の政府発表、また行政からの要請を受け、天理教婦人会創立110周年記念第102回総会は、4月18日から19日にかけての式典と記念行事が中止になりました。

〈中止の式典・行事〉

- ◆天理教婦人会第102回総会
- ◆パワー結集!よろこびのパレード
- ◆記念講演会
- ◆本島支部別席団参
- ◆本島支部憩いの場(懇親会)

〈下記は予定通りです〉

- 「**日々のお供え**」
大教会、詰所にて受け付けます。
大教会：4月14日まで会計へ
詰所：4月7日まで支部長へ
※今回は最後となりますので「日々のお供え氏名記載用紙」も一緒に提出ください。
- 教祖誕生祭 手作りの品、贈り物**
大教会、詰所にて受け付けます
大教会：4月14日まで
詰所：4月17日まで
いずれも支部長までお届け下さい

教祖誕生祭前後の食事について

【本島詰所】

- 教祖誕生祭前後の宿泊食事申込みについては、通常の前予約方法で受付いたします。(朝食は2日前午後9時まで。昼食と夕食は当日朝まで)
- ※4月19日おにぎり弁当は中止となりました。
- 詰所予約担当：横関茂治・永山みずゝ
(TEL 0743-63-1571、Fax 0743-63-0519)

GW 雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：5月4日午前9時から5日午後3時
- 会場：本島詰所
- 参加御供：2,000円(宿泊費、食費込み)
- 持ち物：管、譜本、宿泊道具、ハッピー
- コース：①初級コース(平調 越天楽)
②中級コース(平調 五常楽急・陪臚など)
- 講師：天理大学雅楽部 OB など
- 管を持っていない方は、樹脂管を購入することができますので、事前にご相談下さい。
- お問合せ：鎌田康典
(電話：080-6103-2245)

学生層育成者講習会

【本島学生担当委員会】

- 期日：5月22日(水)神殿講話として
- 講師：松山勇一先生
(本部学生担当委員会事務局長)

おかえり講話

【総務部】

- 日時：6月26日(金)午後7時より
- 会場：詰所4階講堂
- 講師：諸井道隆先生(山名大教会長)

4月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈本部・食堂ひのきしん〉

- 期間：4月1日~15日
- 派遣教会：安藝本中①

〈大教会・食堂ひのきしん〉

- 期間：4月13日~14日
- 派遣教会：本承德①、本廣①、本九台①

〈詰所・教祖誕生祭ひのきしん〉

- 期間：4月16日20:00~19日13:00
- 派遣教会：本京①、本浜①、本攝①、本九①、赤峰②

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：4月24日20:00~26日13:00
- 派遣教会：本室①、本邦①、本清水①

少年会実技勉強会

【少年会本部】

- 教会での少年会活動に役立つ内容です。
- 4月26日：やってみよう!アートパレオン
 - 5月26日：リトミックってなあに?
 - 6月26日：こどもおちばがえりの引率時に役立つゲーム
 - 時間：午後1時30分から午後3時
 - 場所：少年会本部(真南棟4階)
 - 参加費：200円
 - 対象：育成会員
 - 服装：活動に適した服装
 - 詳しくは、少年会本部講習課までお問い合わせ下さい。
(電話 0743-63-1954)

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト